

第2章 本県におけるがんの現状

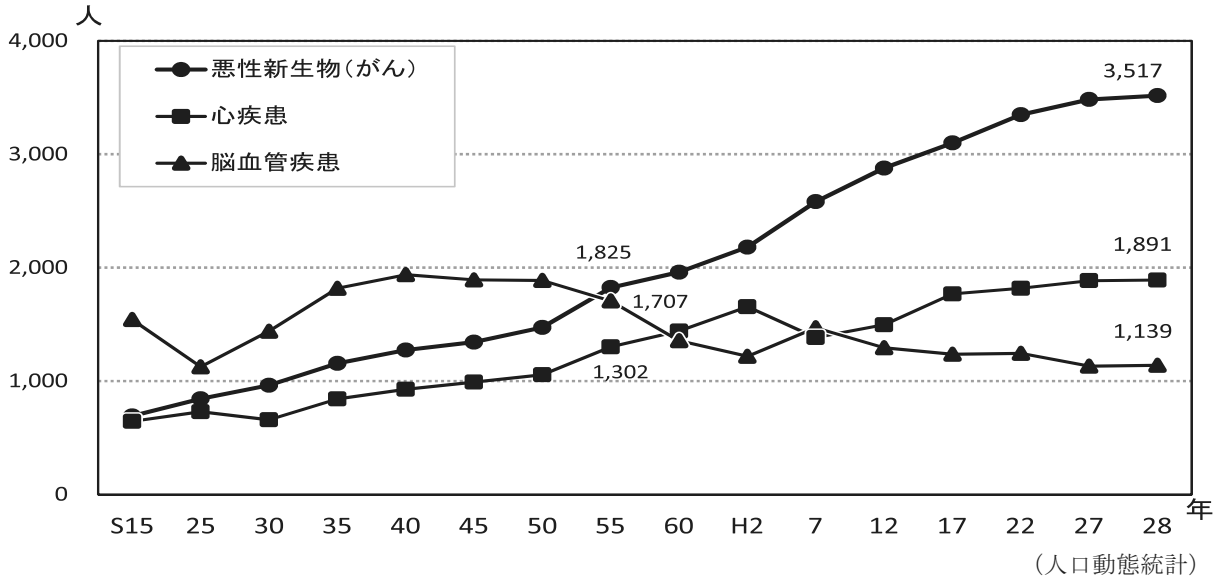
1 死亡の状況

(1) 死亡数

本県では、昭和55年から、がんが死亡原因の第1位を占めている。

平成28年のがんによる死亡数は3,517人で、昭和55年から平成28年までの36年間で約2倍の増加となるなど、増加傾向が続いている。

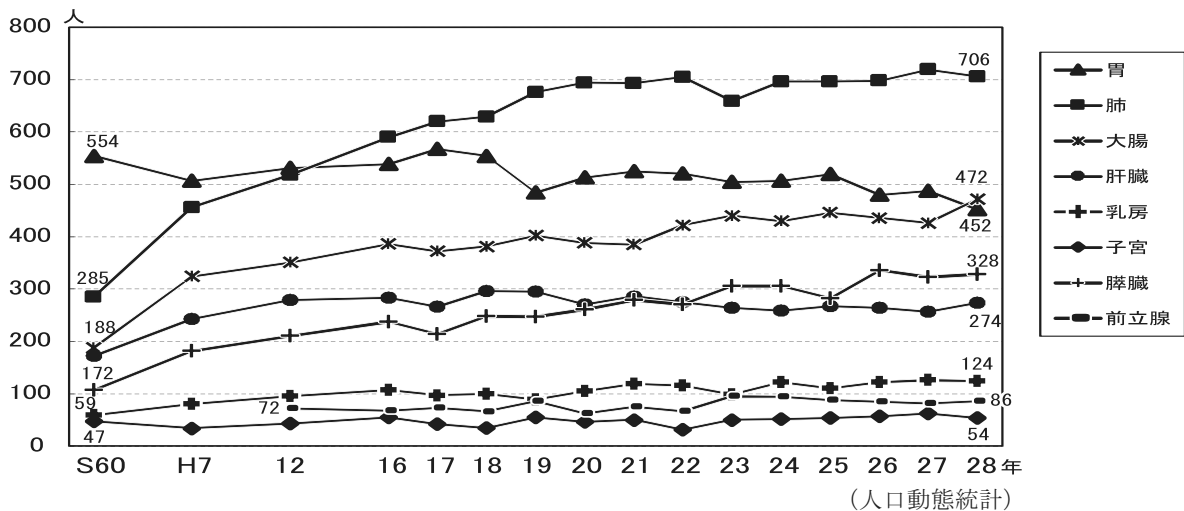
●主要死因別死亡数の年次推移



平成28年の部位別がん死亡者数は、肺がん(706人)が最も多く、次いで大腸がん(472人)、胃がん(452人)の順になっている。

部位別がん死亡数を、昭和60年と比較すると、肺がん、大腸がんが約2.5倍、乳がんが約2倍となっているが、胃がんと子宮がんは、ほぼ横ばいで推移している。

●部位別がん死亡数



(2) 年齢調整死亡率

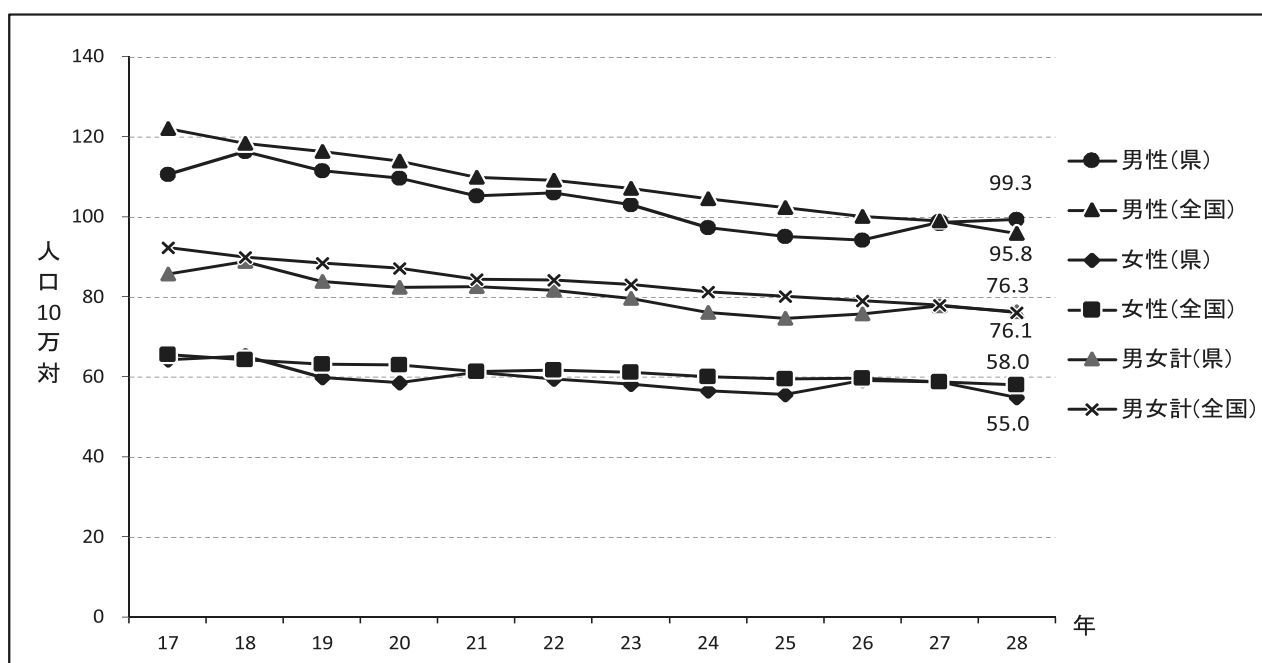
- ① 平成28年の本県のがん年齢調整死亡率*(75歳未満・男女計)は76.3で、男性は99.3で全国より高く、女性は55.0で全国より低くなっている。年次推移をみると、本県は男、女、男女計で減少傾向に変化はない。

●がん年齢調整死亡率(75歳未満)

(人口10万対)

		H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年
男性	県	110.6	116.4	111.6	109.8	105.2	106.1	103.0	97.4	95.1	94.3	98.7	99.3
	全国	122.1	118.3	116.4	114.0	109.8	109.1	107.1	104.6	102.4	100.1	99.0	95.8
女性	県	64.3	65.3	60.0	58.6	61.2	59.5	58.3	56.6	55.6	59.1	58.7	55.0
	全国	65.6	64.3	63.2	62.9	61.3	61.8	61.2	60.1	59.6	59.7	58.8	58.0
男女計	県	85.8	88.9	83.9	82.4	82.7	81.6	79.7	76.1	74.6	75.8	77.8	76.3
	全国	92.4	90.0	88.5	87.2	84.4	84.3	83.1	81.3	80.1	79.0	78.0	76.1

(人口動態統計)



(人口動態統計)

- ② 平成28年の部位別年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人対。以下同じ。)の順位は、男性は肺がんが、女性は乳がんが第1位となっている。

●部位別がん年齢調整死亡率(75歳未満)の順位

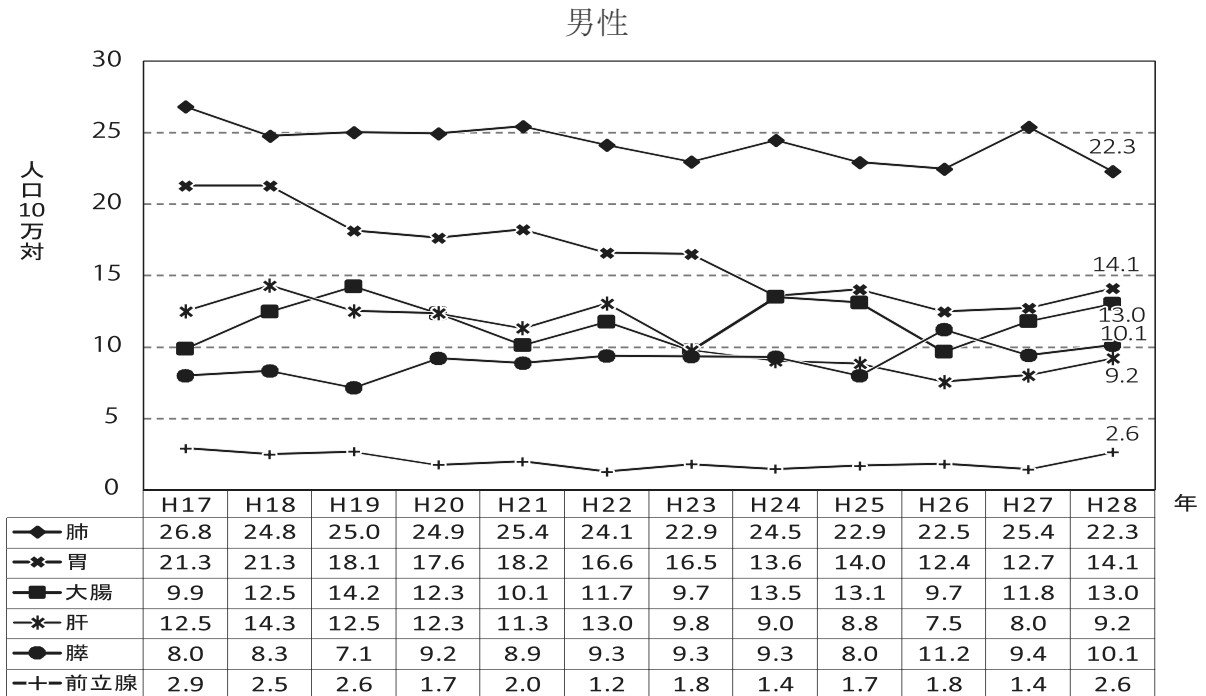
(人口10万対)

		1位	2位	3位
男性	石川県	肺がん (22.3)	胃がん (14.1)	大腸がん(13.0)
	全国	肺がん (21.7)	大腸がん(13.3)	胃がん (12.5)
女性	石川県	乳がん (10.7)	大腸がん(7.4)	肺がん (5.3)
	全国	乳がん (10.7)	大腸がん(7.6)	肺がん (6.5)

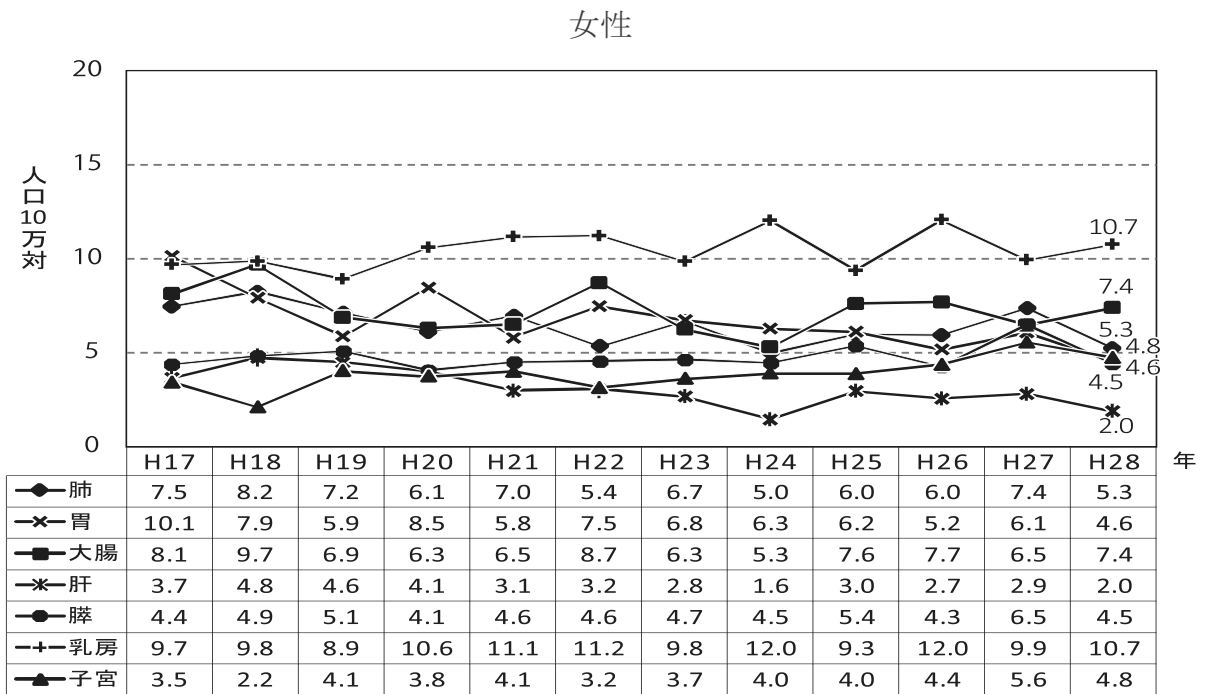
(H28人口動態統計)

③ 部位別のがん年齢調整死亡率（75歳未満）の年次推移をみると、膵がん（男性）及び子宮がんは増加傾向であるが、他は横ばいもしくは減少傾向である。

●がんの部位別年齢調整死亡率（75歳未満）の年次推移



(人口動態統計)



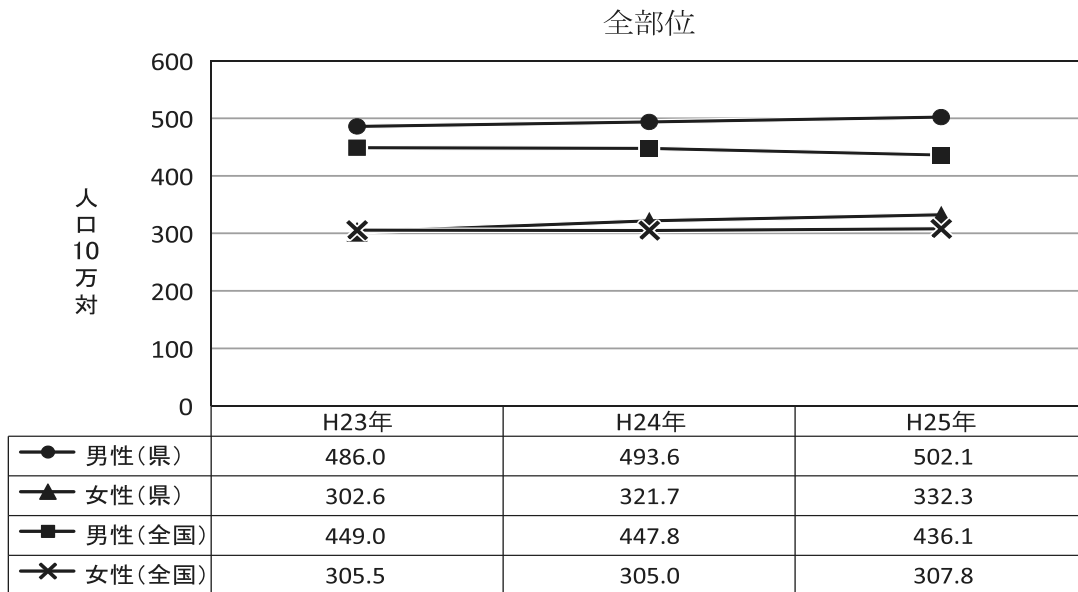
(人口動態統計)

※年齢調整死亡率：高齢化の影響等により年齢構成が異なる集団の間で死亡率を比較したり、同じ集団の死亡率の年次推移を見るため、集団全体の死亡率を基準となる集団の年齢構成（基準人口）に合わせた形で算出した死亡率。

2 罹患の状況

平成 25 年の本県のがん年齢調整罹患率[※]は、男性 502.1、女性 332.3 で男女とも全国より高くなっている。また、本県の部位別がん年齢調整罹患率の順位は、男性では胃がんが、女性では乳がんが第 1 位となっている。

●全部位の性別年齢調整罹患率（人口 10 万対）の全国との比較



(石川県におけるがん登録：H25 年標準集計)

●部位別がん年齢調整罹患率（人口 10 万対）の順位（H25 年）

		1 位	2 位	3 位
男 性	石川県(H25)	胃がん(99.6)	前立腺がん(73.2)	肺がん(72.0)
	全 国(H25)	胃がん(77.8)	大腸がん(67.7)	肺がん(62.3)
女 性	石川県(H25)	乳がん(86.1)	大腸がん(46.6)	胃がん(35.1)
	全 国(H25)	乳がん(85.6)	大腸がん(40.6)	子宮がん(29.1)

(石川県におけるがん登録：H25 年標準集計)

※年齢調整罹患率：高齢化の影響等により年齢構成が異なる集団の間で罹患率を比較したり、同じ集団の罹患率の年次推移を見るため、集団全体の罹患率を基準となる集団の年齢構成（基準人口）に合わせた形で算出した罹患率。

3 がん検診受診率

がん検診の受診率はすべてのがんで増加したが、肺がんを除き目標値の50%には達しなかった。

●がん検診受診率（40～69歳、ただし、子宮がんは20～69歳）

		H23年	H28年
胃がん	県	34.8%	45.4%
	全国	32.3%	40.9%
肺がん	県	25.3%	53.3%
	全国	24.7%	46.2%
大腸がん	県	28.3%	46.1%
	全国	26.0%	41.4%
乳がん	県	30.7%	40.6% (2年に1回) 49.4%
	全国	30.6%	36.9% (2年に1回) 44.9%
子宮がん	県	27.9%	37.1% (2年に1回) 44.9%
	全国	28.7%	33.7% (2年に1回) 42.4%

(※H23の全国の値はH22年のデータ、県：県民健康調査、全国：国民生活基礎調査)

4 がん医療

(1) がん医療提供体制

本県では、本計画及び「石川県医療計画」に基づき、がん診療連携拠点病院等の整備を行ってきた。

① がん診療連携拠点病院

がん診療連携拠点病院については、平成19年1月に、県がん診療連携拠点病院1病院及び地域がん診療連携拠点病院4病院の県内5つの病院が国から指定を受けた。金沢大学附属病院、石川県立中央病院及び国立病院機構金沢医療センターは平成27年4月、金沢医科大学病院及び小松市民病院は平成28年4月に更新している。

◎本県のがん診療連携拠点病院

- ・県がん診療連携拠点病院（1病院）

金沢大学附属病院

- ・地域がん診療連携拠点病院（4病院）

石川県立中央病院（県全域） 国立病院機構金沢医療センター（石川中央）

金沢医科大学病院（能登北部・能登中部） 小松市民病院（南加賀）

がん診療連携拠点病院では、手術のほか、放射線治療、化学療法を組み合わせた高度かつ専門的ながん診療を行うほか、医療従事者に対する研修やがん患者・家族に対する情報提供や相談に応じるための相談支援センターの設置、院内がん登録の推進などの機能強化を図っており、患者がどこに住んでいても、質の高いがん医療が受けられることを目指した体制整備が進められている。

また、平成19年5月に県拠点病院である金沢大学附属病院に「石川県がん診療連携協議会」が設置され、同協議会が作成する医療従事者を対象とした研修計画をもとに、放射線治療を含めた集学的ながん治療を行う専門医や専門スタッフを養成するための研修やがん登録データの分析、相談支援センター活動に関する情報交換など分野別に事業が進められている。

② 地域がん診療連携協力病院・地域がん診療連携推進病院

県は、地域がん診療連携協力病院（以下「協力病院」と略す。）及び地域がん診療連携推進病院（以下「推進病院」と略す。）を「石川県医療計画」の「専門的ながん診療を行う医療機関」として位置づけ、身近な環境でより質の高いがん医療を受けられることができるよう、平成23年4月に協力病院2病院、推進病院7病院を指定した。

◎石川県地域がん診療連携協力病院（2病院）

公立能登総合病院、恵寿総合病院

◎石川県地域がん診療連携推進病院（7病院）

芳珠記念病院、金沢市立病院、金沢赤十字病院、地域医療機能推進機構金沢病院、浅ノ川総合病院、石川県済生会金沢病院、公立松任石川中央病院

◎地域がん診療連携協力病院・地域がん診療連携推進病院

【指定要件】

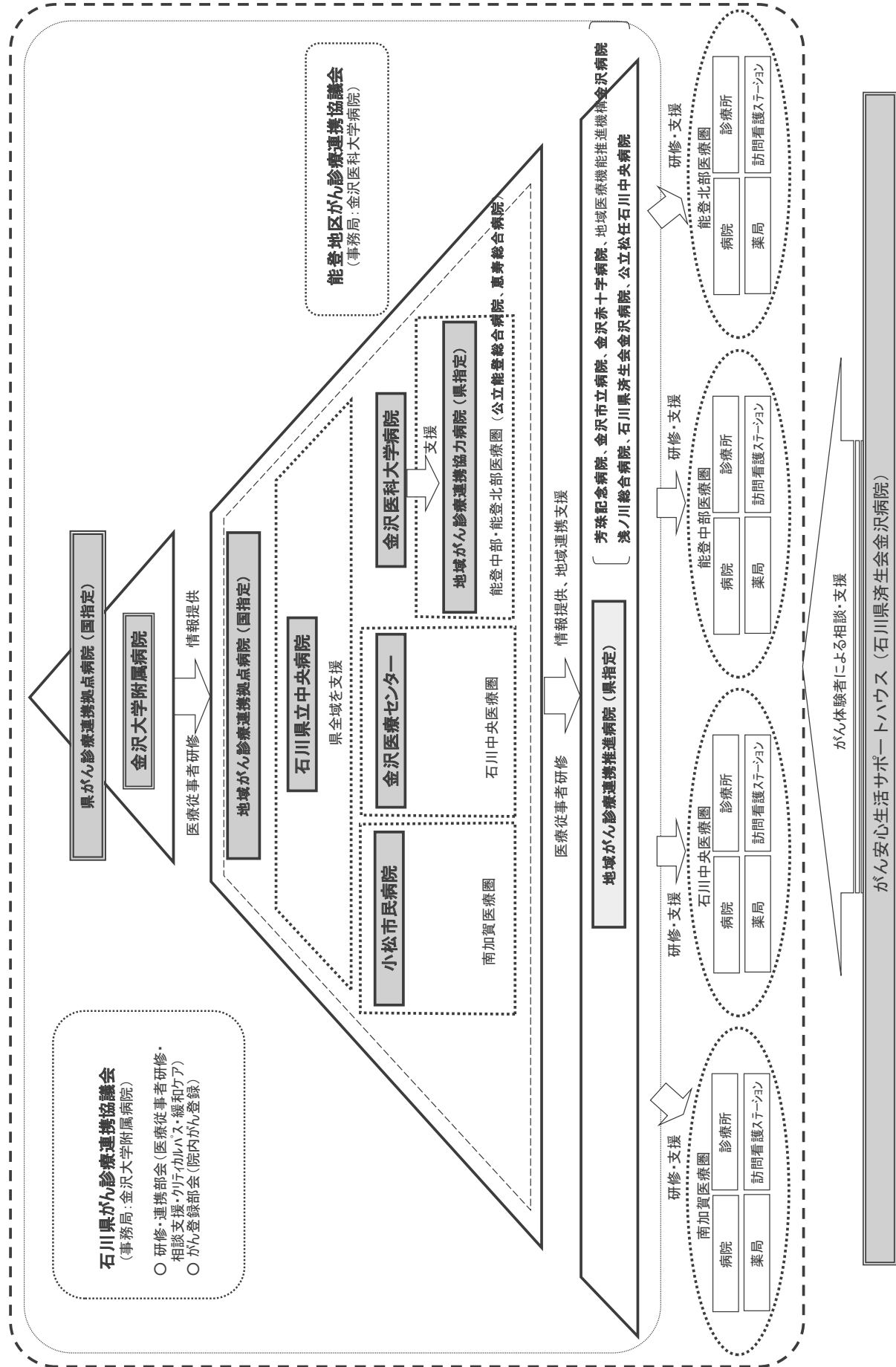
- 1 がん拠点病院と連携し、専門とするがんに関して、手術や化学療法など、がん拠点病院と同様の専門的ながん医療を提供（ただし、放射線療法については、他の医療機関との連携による提供可）
- 2 外来において緩和ケアを提供できる専門チームの設置
- 3 がん拠点病院が実施する研修に協力するとともに積極的に参加
- 4 院内がん登録の実施と地域がん登録への協力
- 5 診療実績として、年間の新入院患者数が延べ400人以上

※ ただし、地域がん診療連携協力病院は下記の要件を追加

- 1 当該2次医療圏域にがん拠点病院がないこと
- 2 がん拠点病院と連携し、我が国に多い5大がんを中心として、放射線療法を含め、がん拠点病院と同様の専門的ながん医療を提供
- 3 外来化学療法室の設置
- 4 医師を対象とした緩和ケア研修の実施
- 5 相談支援センターの設置と専門的な研修を修了したスタッフの配置



石川県のがん医療対策



(2) がん治療

県内におけるがん治療（手術療法、放射線療法^{※1}、化学療法^{※2}）等については、下記のとおりとなっている。

●悪性腫瘍手術等実施件数（人口10万対） （9月中の実施件数）

	H23年	H26年
悪性腫瘍手術	37.8	41.4
胃・大腸悪性腫瘍手術（再掲）	12.6	15.4
肺悪性腫瘍手術（再掲）	4.4	5.2
乳房悪性腫瘍手術（再掲）	5.2	6.1
子宮悪性腫瘍手術（再掲）	2.8	2.6
肝臓・胆嚢・膵臓悪性腫瘍手術（再掲）	5.1	3.5

（厚生労働省医療施設調査）

●放射線治療（体外照射）の実施件数（人口1万対） （9月中の実施件数）

	H23年	H26年
放射線治療（体外照射）の実施件数	11.9	8.7

（厚生労働省医療施設調査）

●外来化学療法の実施件数（病院）（人口1万対） （9月中の実施件数）

	H23年	H26年
外来化学療法の実施件数（病院）	14.7	15.4

（厚生労働省医療施設調査）

※¹放射線療法：放射線を照射して、がん細胞の分裂を抑え、またはがん細胞を破壊する治療法

※²化学療法：抗がん剤を用いて、がん細胞の分裂を抑え、またはがん細胞を破壊する治療法

【がんリハビリテーションの実施状況】

- ・がんリハビリテーションを実施する医療機関数
H24：3医療機関数 → H28：21医療機関
- ・がんリハビリテーションの実施件数
H22：94件 → H27：5,218件

【がんの専門医等】

がんの専門医認定に関しては、関係学会において、各学会独自の基準（勤務した施設や期間、経験した症例数、セミナーへの参加など）が定められ、自主的に専門医が養成されている。

- ・日本臨床腫瘍学会専門医（暫定指導医を含む。）（H29年7月25日現在）
石川県：38名 全国：2,458名
- ・日本放射線腫瘍学会認定医（H28年12月現在）
石川県：8名 全国：1,104名
- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医（H28年4月現在）
石川県：166名 全国：14,834名
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医師（H29年3月現在）
石川県：92名 全国：10,977名

看護師や薬剤師等についても、関係団体において、専門的ながん診療に携わる看護師、薬剤師等の認定を行っている。

- ・がん化学療法認定看護師 石川県（H29年7月）、全国（H28年8月）
石川県：22名 全国：1,463名
- ・がん性疼痛看護認定看護師 石川県（H29年7月）、全国（H28年8月）
石川県：11名 全国：776名
- ・緩和ケア認定看護師 石川県（H29年7月）、全国（H28年8月）
石川県：25名 全国：2,038名
- ・がん専門薬剤師（H29年7月）
石川県：18名 全国：525名

(3) 緩和ケア

がんと診断された時から、患者及び家族に緩和ケアを適切に提供するため、拠点病院等における緩和ケアチームや緩和ケア外来など専門的な緩和ケアの提供体制の充実に努めている。緩和ケア病棟は、石川県済生会金沢病院に28床、小松市民病院に10床整備されている。

相談支援については、各がん診療連携拠点病院等に、患者やその家族の不安や疑問に対応する相談支援センターが設置され、セカンドオピニオンの提示可能な医師の紹介等も行なうなど、その機能の充実に努めているところである。

【緩和ケア等の実施件数】

- ・緩和ケアの実施件数（緩和ケアチーム患者数）
H23：414件→H26年：1,069件
- ・国の標準的なプログラムによる緩和ケア基本研修を修了した医師数
H23年度末現在：392人→H28年度末現在：1,095人
- ・国立がんセンター等による都道府県指導者研修会（緩和ケア）を修了した医師数
H23年：18人→H27年：26人
- ・末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数
H24年：119医療機関→H27：140医療機関
- ・自宅等での死亡割合
H23年：6.1%→H27：10.8% <全国：13.3%>